電子納品はじめてガイド

入門編





これから始める人のために、 電子納品の「基本」を徹底解説!



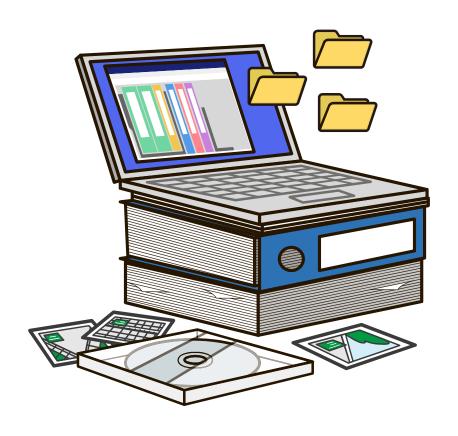
電子納品はじめてガイド

当ガイドでは電子納品の「基本」について解説いたします。 不安や疑問を解消して、はじめてでもすぐに電子納品を始められます!

01	電子納品とは ・電子納品は成果物を電子データで納品すること ・電子納品の決まりごと ・電子納品ソフトを使うと簡単	04 05 06
02	確認すべき5つのポイント	00
	・電子納品要領・基準を確認する ・工事写真に関する仕様を確認する	08
	- 信憑性チェック結果の提出が必要か確認する ····································	10
	・成果物をチェックシステムにて確認する	11
	・電子成果物を納品する方法を確認する	12
	・電子納品に必要な確認項目まとめ	13
	電子納品Q&A	
03	•よくある質問 ····································	15
	・電子納品でお困りのときは	16

01

電子納品とは



・電子納品は成果物を電子データで納品すること	04
・電子納品の決まりごと	05
・電子納品ソフトを使うと簡単	06

電子納品は成果物を電子データで納品すること

「電子納品」では、これまで紙で提出していた工事・業務の最終成果を電子成果物として納品します。

単に成果物の電子化を行うことではない!?

「電子納品」は、PDFファイルや専用ビューワなど、電子データであればどのような形式のデータでも納品することが可能…というわけではありません。

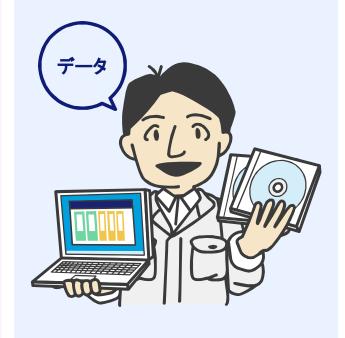
定められた細かなルールに従って電子成果物を作成して納品する必要があります。

一定の基準に基づいて作成された電子成果物を一元管理して検索可能にすることで、将来の各業務段階での再利用を容易にし、業務の効率化を図ることを目的としています。

従来の成果物

- 1 成果物を作成して印刷
- 2 ファイルにまとめる
- 3 取引先へ郵送する

電子成果物



- 1 成果物を作成してCDへ書き込み
- 2 CDにラベルを貼る
- 3 CDを郵送する

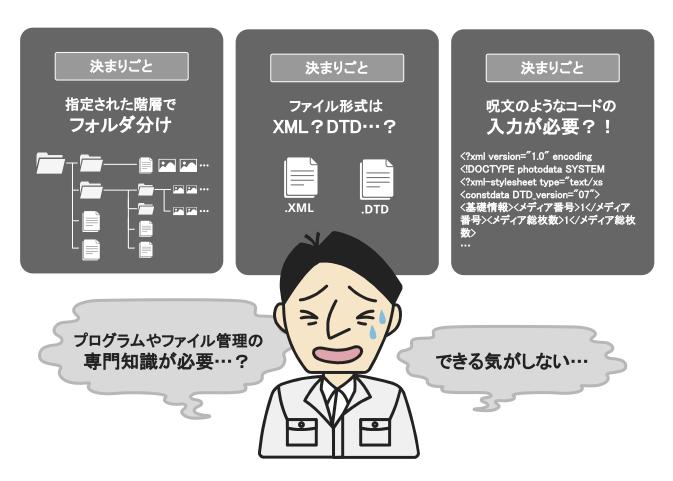
※オンライン電子納品の場合は、成果物を作成してすぐにインターネットを介して送信することで納品できます

電子納品の決まりごと

電子納品には、工事関係者同士で容易にデータのやりとりができるように定められた細かなルール(電子納品要領・基準)が存在します。

電子納品成果物は決まりごとがいっぱい...

電子納品成果物は、自分で作成することもできます。ただし、フォルダ構成、ファイル形式、ファイル命名 規則、さらにファイルに書き込む内容など、すべて電子納品要領・基準に従って作成しなければなりません。



紙ベースの成果物は、ある程度の知識があれば作成可能でしたが、

電子納品はプログラムやファイル管理などの専門的な知識が必要なので、 知識がない状態で自力で作成するのは、至難の業です。

そんな不安は『蔵衛門御用達』ですべて解決!

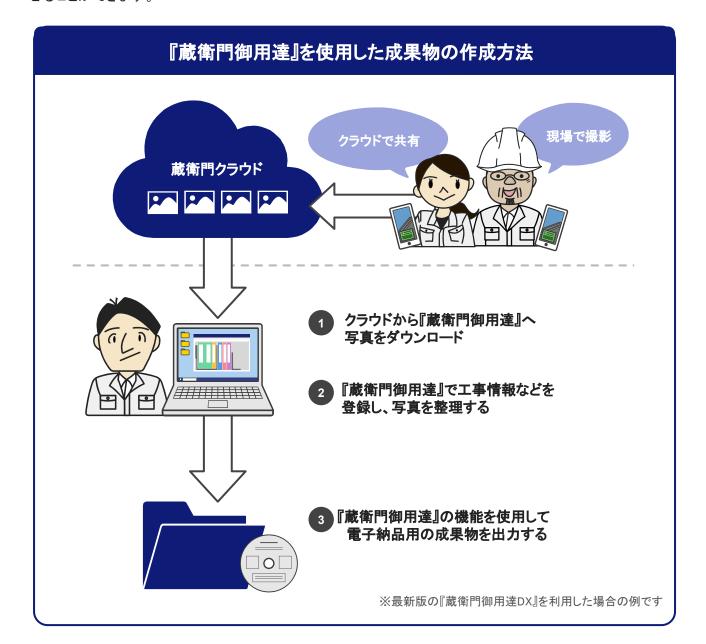
電子納品作成ソフトを使うと簡単

電子納品に対応したソフトを使用すれば「電子納品」に関する専門的な知識はほとんど必要ありません。簡単に成果物を作成することができます。

電子納品対応ソフト『蔵衛門御用達』での作業の流れをご紹介

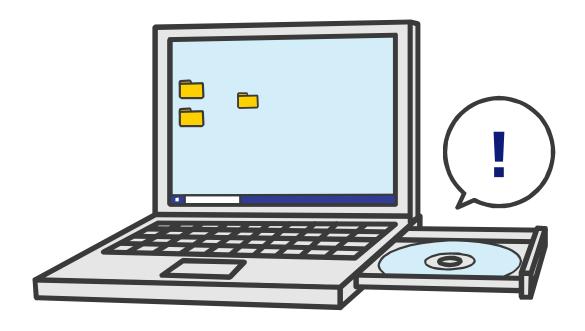
電子納品成果物を自力でイチから作成するには、膨大な作業時間および、専門的な知識がある人が必要不可欠です。

『蔵衛門御用達』を利用すると、直感的に操作するだけのたった数ステップで電子納品成果物を完成させることができます。



02

確認すべき5つのポイント



・電子納品要領・基準を確認する	08	
・工事写真に関する仕様を確認する	09	
・信憑性チェック結果の提出が必要か	確認する 10	
・成果物をチェックシステムにて確認す	⁻ ති11	
・電子成果物を納品する方法を確認す	⁻ ත12	
・電子納品に必要な確認項目まとめ		

スムーズな電子納品のためのポイントを5つご紹介します。

ポイント

01 電子納品要領・基準を確認する

「電子納品要領・基準」は、定期的に内容が見直されます。

過去に電子納品を実施したことがある場合にも、新規の工事では電子納品要領・基準が改定されていることがあります。また、業務によって成果物を作成する際に適用する電子納品要領・基準が異なります。

例)国土交通省 工事完成図書の電子納品要領の場合 …「台帳管理項目」の内容が一部改定

令和3年3月

ルート直下の台帳フォルダに格納する台帳管理ファイル(REGISTER.XML)に記入する管理項目は、下表に示す通りである。



ルート直下の台帳フォルダに格納する台帳管理ファイル(REGISTER.XML)に記入する管理項目は、下表に示す通りである。

また、工事写真(PHOTOフォルダ)のみを 納品する場合は、台帳フォルダの作成は 不要とする。

※工事完成図書の電子納品要領 令和4年3月 新旧対照表より抜粋

★ 誤った要領・基準の成果物を納品した場合

電子納品をチェックするチェックシステムによって、提出した成果物がNG判定となって発注者から 差し戻されてしまいます。その結果、**電子納品成果物を作り直すことになり、作業時間が逆に増 えてしまう**ことになります。

発注者からの差し戻しを防ぐために

電子納品成果物を作成する前に

電子納品要領・基準に誤りがないかしっかりと確認しておくことが重要です!

ポイント

02 工事写真に関する仕様を確認する

撮影する写真のサイズ(解像度)や大きさ(容量)、ファイル形式には規定があります。規定を気にせずに撮影すると、成果物が電子納品の基準にあわなくなることがあります。

■ 工事写真の画素数とファイル形式の例

●営繕工事写真撮影要領 令和3年改定

100~300万画素(1200×900~2000×1500pixel)程度 ファイル形式は、JPEG

●デジタル写真管理情報基準(案)令和2年3月

100~300 万画素(1200×900~2000×1500pixel)程度ファイル形式は、JPEGやTIFF

●NEXCO工事記録写真等撮影要領

120万画素(1280×960pixel)以上 ファイル形式は、JPEG

★ 誤った画素数やファイル形式で撮影した場合

デジタル写真の画像編集・加工は一切認められません。

撮影後に写真の大きさを編集・加工した場合、写真ファイルに記録されている写真情報(Exif 情報)が消失してしまい、**電子納品に利用できない可能性があります。**

! 未然に防ぐために

撮影開始前に規定の画素数となるよう、十分な確認を行うことが重要です!

蔵衛門Padや蔵衛門のアプリで撮影すれば、ボタンひとつで簡単に撮影する写真のサイズ 設定ができます。

ポイント

03 工事写真の信憑性チェック結果の提出が必要か確認する

電子小黒板を利用した工事写真が電子納品に利用できる信憑性のあるものであるか、「信憑性チェック結果」の提出を求められる場合があります。事前に発注者に確認してください。

信憑性チェックツール完全ガイド

信憑性チェックにつきましては、下記のガイドのP6~P9をご確認ください。

https://www.kuraemon.com/faq/download/Kuraemon_credibility check.pdf



蔵衛門シリーズ証明書一覧

蔵衛門シリーズは、J-COMSIA実施の信憑性確認(改ざん検知機能)の検定、小黒板情報連携機能検定に合格しています。

https://www.kuraemon.com/jcomsia/certificates/list/

※適合証(非改ざん証明書)が必要な場合は、ダウンロードしてご利用ください。



※ 誤った機器で撮影した場合

一般的なデジカメやスマートフォンに標準搭載されているカメラアプリは改ざん検知機能がない ため、写真が信憑性確認をクリアしているかどうかの判定ができません。

! 判定不可になることを防ぐために

国土交通省が推奨する工事写真の信憑性確認(改ざん検知機能)の許可を得ている撮影機器(蔵衛門Pad/蔵衛門のアプリ)の利用が必要です!

ポイント

04 成果物をチェックシステムにて確認する

完成した電子成果物は、各発注機関が公開している「電子納品チェックシステム」にてエラーがないか確認します。「電子納品チェックシステム」は、電子成果物が電子納品要領・基準に整合しているかの確認作業を支援するためのシステムです。

各発注機関の電子納品チェックシステムの例

●国土交通省

http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/

●農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/nouhin_youryou/densi.html

NEXCO

https://www.ri-nexco.co.jp

※《ダウンロード》平成29・28・24年度版チェックシステム

※発注機関によっては指定のチェックシステムが異なるため、各発注機関の電子納品要領・基準をご確認ください。

★ チェックをせず成果物を納品した場合

原則として、発注者への提出の前にチェックシステムでエラーが出ないことを確認する必要があります。

チェックを行わずに納品すると、発注者が検査する際にエラーが発生する可能性があります。エラーが出た場合は発注者から差し戻されてしまいます。ので、改めて作業しなければなりません。

! 発注者からの差し戻しを防ぐために

各発注機関の電子納品要領・基準から対象の電子納品チェックシステムを確認し、納品前にしつかりチェックすることが重要です!

ポイント

05 電子成果物を納品する方法を確認する

現在、電子成果物を納品する方法は2つあります。対象の納品方法を確認して提出してください。

CDやDVDに成果物を格納して納品する



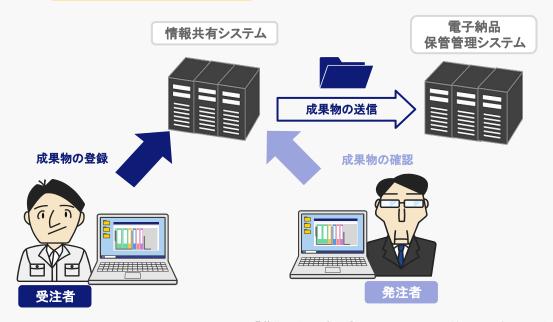




インターネット経由(オンライン)で納品する

国土交通省が令和3年から開始した、新しい納品方法です。

※令和5年から「オンライン電子納品」が原則化 されます。



※『蔵衛門御用達DX』は、オンライン電子納品に対応しています

★ 誤った方法で納品した場合

対象ではない納品方法では、**発注者に 受け付けてもらえません。**

未然に防ぐために

対象の納品方法を要領・基準やガイド ラインにて確認することが重要です!

電子納品に必要な確認項目まとめ

最後に、これまで説明した電子納品を始めるにあたって重要なチェックリストをご案内します。 基本的には、電子納品要領・基準やガイドラインに記載されています。 事前確認により作業の抜け漏れを防止し、スムーズに電子納品を始められます。着手前にご確認ください。

チェ	11/	JIJ	ス	H
			~ ~	

■使用する電子納品要領・基準()	
-----------------	---	--

■写真のサイズ(解像度)や大きさ(容量)の制限

なし / あり:

■写真のファイル形式の制限

なし / あり:

■信憑性チェック機能付きの撮影機器

不要 / 必要:

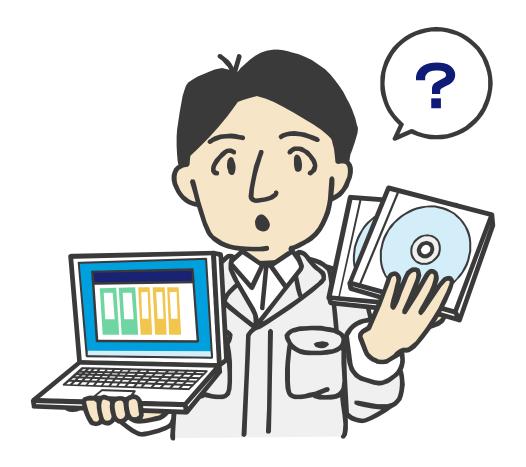
■工事写真の信憑性チェック結果表の提出

不要 / 必要:

- ■使用する電子納品チェックシステム(
- ■納品方法(CD / DVD / オンライン電子納品)

03

電子納品Q&A



・よくある質問		 15
・電子納品でお困	りのときは	 16

よくある質問

Q

電子納品をしたいのですが、〇〇県の要領はどれを選べばいいですか?



電子納品要領・基準は、各都道府県、さらには市区町村によって異なりますが、基本的には国の要領・基準に準拠し策定されています。

それぞれに準拠する国の要領・基準は「電子納品運用ガイドライン」に記載されています。

『蔵衛門御用達』で電子納品を行う際は、各都道府県/市区町村の「電子納品運用ガイドライン」を参考に、国の要領・基準を選択してください。

例)東京都「電子納品運用ガイドライン」の場合

【1.3 国交省版ガイドライン・基準を適用する委託・工事で注意点】に記載があります。

※各都道府県によって出力するデータやチェックシステムが異なります。 詳細については「電子納品運用ガイドライン」をご確認ください。

Q

『蔵衛門Pad』の画素数を教えてください。



CALS低(1M)、CALS中(2M)、CALS高(3M)、高画質(8M)から選択することができます。

※1M=100万画素



蔵衛門.comの「<u>電子納品サポートページ</u>」に 多数のQ&Aを掲載しています。一度ご確認ください!

電子納品でお困りのときは

「電子納品」に関するご相談・ご質問については、下記へお問い合わせください。

くらえもん☆オンライン

ホームページ https://www.kuraemon.com/

サポートページ https://www.kuraemon.com/support

よくある質問 https://www.kuraemon.com/fag/support/cals_guide/

所在地 〒107-0061

東京都港区北青山1-2-3 青山ビル3F

株式会社ルクレくらえもん☆オンライン